

令和2年第7回（11月）瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

○ 小規模特認校の指定について

自然豊かな環境や地域の特色を生かした少人数での教育を目的とした小規模特認校制度は、一定の条件のもと通学区域外からも入学を認める制度で、平成29年度に裳掛小学校を小規模特認校として指定しています。現在裳掛小学校と同様に地域の特色を生かし、地域の方との交流事業や体験型の学習を行っている美和小学校を、令和3年度に小規模特認校として指定する予定としており、小規模校のきめ細やかな教育の充実と活性化につながるよう支援していきます。

○ 学校トイレの洋式化、乾式化について

学校トイレにおける感染対策と衛生環境の改善を図るため、来年度から国の学校施設環境改善交付金を活用し、計画的に幼稚園、小学校、中学校のトイレの洋式化、乾式化の工事を実施することとしました。工事については夏休み期間を利用するため、来年度実施する予定の学校、園のトイレ改修について、今議会に設計委託料を計上していますので、よろしく願います。

○ 公民館活動について

県下最大規模を誇る菊花展として、第34回備前長船菊花展を10月1

8日から11月20日まで長船町公民館において開催しました。会場には、菊づくり講座受講者や市内外の愛好家53人による約800鉢が展示され、見事に咲き誇った花が訪れた方に感動を与えていました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により文化祭は中止となりましたが、文化祭に出店、出演予定であったグループの成果を「ホームページ de 文化祭」、「フェイスブック de 文化祭」と題して公開しました。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

令和2年11月24日

瀬戸内市教育委員会

教育長 東南 信行